

令和6年度

西東京市立保谷第二小学校

学校関係者評価結果

■学校教育目標

「自ら伸びる」

○よく考える子

○思いやりのある子

○たくましい子

■目指す児童像

●地域社会との協働により、それぞれの児童の教育ニーズに応じ、次代を担う市民を育む「社会の雛形」としての学校

●生涯にわたって心の拠り所となる「地域のふるさと」としての学校

■目指す学校像

●知・徳・体の調和がとれ、自らの向上を図る「自ら伸びる」児童

●他者を尊重し、集団の中で積極的に自らの役割を果たそうとする児童

■目指す教師像

●専門職としての使命感と誇りをもち、創意工夫に満ちた指導の充実に努め、子どもの心に灯をともしことのできる「プロフェッショナル」の教師

■学校経営上の成果と課題

[成果] 西東京市研究奨励校として、コミュニティ・スクールへの円滑な移行を果たし、複合単元「市民科」におけるリアルな地域課題を通して、児童の「学び方」「考え方」の学びを進めた。

[課題] 地域拠点の役割を果たすため、2軸「花」「安全・安心」を一層推進する必要がある。そのため、後者に関して、保護者や地域住民も参画する、かつてない「避難所開設訓練」を実現する。

関連 教育 目標	中期 経営 目標	短期経営目標	具体的方策	質問内容(教…教職員 児…児童 保…保護者)			教員の結果(%)					児童の結果(%)			保護者の結果(%)							
							A	B	C	D	対象外	A	B	無回答	A	B	C	D	不明			
よく考える児童の育成	教育効果の向上	基礎・基本の完全習得	朝学習でのモジュール型短時間学習により、基礎・基本事項の習得を継続的に図る。 ●漢字 ●計算 ●タイピング	①	教	朝学習を有効に用いて、計画的に基礎・基本の定着を図りましたか。	57.1	21.4	0.0	0.0	21.5	92.5	7.5	0.0	27.3	47.0	21.9	3.8	0.0			
					↑6.5					↓7.0		↑0.5	↓2.0	↑2.0	±0.0	↓4.2		↑4.8		↓0.6		
					児	漢字(1年生はひらがな)や計算が、ドリルやテストでできるようになりましたか。	[状況]	●始業前 15 分間のモジュール型短時間学習が根付いて、基礎・基本の定着に欠かせない機会となりました。しかし、九九の定着に個人差があることが課題です。家庭との個別の連携を通して、具体的に対策を講じる必要があります。														
					保	家庭学習の中で、お子さんは、漢字や計算の基礎・基本ができていますか。	[取組]	●漢字と計算のドリルを、自動採点・集計が可能なものに切り替えたことで、定着状況を個別に把握でき、家庭学習の支援を図っています。今後、個別の課題を家庭と共有し、具体的なスケジュールで、基礎・基本の確立を進めます。														
		関係者	2.7 /3					[コメント] ●個別の学習ができることで、児童や保護者の心理的負担が和らぐのではないかと期待しています。														
		各教科等を横断させたカリキュラムマネジメントの実施 [横糸]	各教科等の指導内容を横断させ、教育効果を向上させる。 ●言語活動の推進 ●道徳科の充実 ●複合単元「市民科」における単元開発	②	教	国語科の言語活動など、各教科等を横断した総合的な学びを進めましたか。	57.1	28.6	0.0	0.0	14.3	93.4	6.6	0.0	26.0	48.0	22.3	3.1	0.6			
					↑6.7					±0.0		↓6.7	↑2.6	↓2.6	±0.0	↓2.9		↑3.3		↓0.4		
					児	自分の考えを友達に話したり、友達の考えを参考にしたりできましたか。	[状況]	●例えば第1学年の校内研究授業では、MUFG PARK や東大田無演習林の森林教育パートナーと連携して、地域の自然素材を活用した工作や遊びを進め、全ての児童が夢中になって、それぞれの個性を主体的・対話的に発揮した素晴らしい提案となりました。近隣の 100 名の園児を迎えた交流会に発展したことに、「教育のチカラ」を実感します。														
					保	お子さんは、コミュニケーションを通じて、考えを相手に伝えることができますか。	[取組]	●学校目標「自ら伸びる」の具現化のため、各教科等で学んだことを自在に横断すること、コミュニケーションを通してさまざまな見方・考え方に触れ、自らの「納得解」にたどり着くことを重視した単元開発を、一層、進めます。														
		関係者	2.7 /3					[コメント] ●自分言葉から相手に伝わる言葉を使う機会を増やしてもらっている実感がありました。														
		各教科等を縦断させたカリキュラムマネジメントの実施 [縦糸]	6年にわたる「課題改善カリキュラム」を進め、漢字や関数の系統的な理解を促す。 ●漢字の意味 ●図や表の活用 ●読解力向上	③	教	漢字や算数科の数量関係について、既習事項に基づく系統的な指導をしましたか。	57.1	28.6	0.0	0.0	14.3	91.0	9.0	0.0	20.2	52.8	23.6	2.2	1.2			
					↑6.7					±0.0		↓6.7	↓1.9	↑1.9	±0.0	↓0.4		↑0.5		↓0.1		
児	これまでに学習してきたことを、新しい学習に生かすことはできましたか。				[状況]	●系統的な学びを重視し、4つの特設カリキュラムを骨格とした、骨太の指導を図っています。しかし、タブレット型端末を駆使した問題解決が想定を超えて進み、「Canva」などのツールを介した思考・表現の高まりに可能性を感じます。																
保	お子さんは、過去に学習したことを、新たな学習に自ら生かすことができますか。				[取組]	●情報化が加速度的に進む現代だからこそ、「生きる力」の基盤づくりを地道に進めます。特に、「読解力」や「論理力」の向上のため、モジュール型短時間学習を活用し、図やグラフ、表などの「非連続型テキスト」の活用も進めます。																
関係者	2.7 /3					[コメント] ●タブレットを使用する学習のメリット・デメリット(記憶に残りにくい)など、考慮しながら進めていただければと思います。																
ギガスクール構想の具現化	個別最適化された学びの実現	文房具として日常的にタブレット端末の活用を進める。 ●家庭学習との連携 ●ドローンの制御 ●生成 AI の導入 ●情報モラル	④	教	教材の電子化も念頭に、タブレット端末の日常的な活用を図りましたか。	50.0	35.7	14.3	0.0	0.0	90.4	9.6	0.0	32.8	46.4	15.5	3.4	1.9				
				↓0.3					↑0.3		±0.0	↓0.7	↑0.7	±0.0	↑5.2		↓3.3		↓1.9			
				児	きまりを守ってタブレットを使い、知らないことを調べたり、考えを伝えたりしましたか。	[状況]	●6年生の市民科「こども議会」では、租税の有効活用を探究し、①着眼点を広げる ②マニフェストをまとめる 活動で生成 AI を活用し、施策を市長に提言しました。全国的にも先進的な単元開発を通して、DX 化を推進しました。															
保	お子さんは、タブレット端末を、適切に学習活動に活用することができますか。	[取組]	●発達段階に応じて、全児童が、ドローンを用いてプログラミング的思考を体験するとともに、6年生は、プロジェクションマッピング作品を展覧会で公開しました。新たな産業を見据え、新たに3D プリンターの導入を検討しています。																			

よく考える児童の育成	ギガスクール構想の具現化	個別最適化された学びの実現	文房具として日常的にタブレット端末の活用を進める。	④	関係者評価	2.4 /3	● 展覧会に、わずかの時間ではあったのですが参加し、ファッションショー等ひとつひとつの作品に、子ども達の思いが詰まっていると感じました。 [コメント] ● 生成 AI のリテラシー教育は、積極的に実施する必要があると感じる。(法・倫理観)→制限ではなく活用。 ● タブレットは、児童が適切に使用するために、まだ多くの課題があると思います。新しい課題なので、これからも悩み続けるものになるのではないのでしょうか。															
			自立した学びを支える「学び方の学び」「考え方の学び」を、各教科等に応じて進める。 ● 調べ方・まとめ方 ● 思考ツールの活用	⑤	教	書籍や辞書、タブレットを用いた検索、インタビューによる調べ学習を進めましたか。	71.4	28.6	0.0	0.0	0.0	94.0	6.0	0.0	24.8	38.1	26.3	8.7	2.1			
					±0.0		±0.0		±0.0	↑3.5	↓3.5	±0.0	↑0.9		↓0.4		↓0.5					
					児	知りたいことを調べるとき、本やタブレットを使ったり、他の人にたずねたりしましたか。	[状況]	● 国が推進する「個別最適化された学び」を実現するべく、書籍や辞書とタブレット端末を用途に応じて活用し、インタビューも重視した、主体的で対話的な学びを進めて3年目となり、自立して学ぶ力が定着してきています。														
保	家庭学習の中で、お子さんは、図書館の本や辞書、タブレットを活用できますか。	[取組]	● 家庭学習で個別に調べたことをもとに、学校での対話を通して深めていく「反転学習」を進めており、コロナ禍を契機に、夏季休業期間における自立的な学びに拡張してきました。次期学習指導要領を見据え、本格化していきます。																			
						2.5 /3	[コメント] ● 対話的な学び…good! ● タブレットで簡単に調べることができるメリットを活かしながら、本を読むという機会もなくさないでほしい。															
思いやりのある児童の育成	心に寄り添う指導の実現	「あったか学校」の実現	ユニバーサルデザインによる学習環境づくりを通して、全ての児童の学びに寄り添う。 ● 机・椅子のサイズ ● 視覚刺激・聴覚刺激の低減	⑥	教	教室の壁面やロッカーの整備、机・椅子のサイズ調整など、環境の整備をしましたか。	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	90.7	9.3	0.0	30.0	52.6	10.2	0.6	6.6			
					±0.0		±0.0		±0.0	↓1.3	↑1.3	±0.0	↓1.6		±0.0		↑1.6					
					児	教室では、集中して学習することができましたか。	[状況]	● 視覚刺激・聴覚刺激を徹底して低減させることで、全校で、落ち着いた学習環境を実現しています。 ● メリハリのある適正な学習規律を担保に、さまざまな先進的な活動に挑める、理想的な往還ができています。														
			保	教室は、お子さんが学習に集中できる環境となっていますか。	[取組]	● 児童それぞれの「見え方」に配慮して、黒板のチョークを、ユニバーサルデザイン対応の製品に入れ替えています。また、購入する教材や自作教材のフォントを、ユニバーサルデザインのものに揃えています。																
								2.7 /3	[コメント] ● ユニバーサルデザインの取組…good! ● 良いとされているものを導入し、現場でどのような変化があるのか(あったのか)保護者にも発信していただけたらと思います。													
			教育相談機能の充実を図り、具体的方策を保護者と共有する。 ● カウンセリング ● 問題解決型ケース会議 ● いじめの防止	⑦	教	教育相談の手法を用いて、児童や保護者のニーズに応えられましたか。	40.0	53.3	0.0	0.0	6.7	99.1	0.9	0.0	39.3	48.3	11.5	0.3	0.6			
					↑0.3		±0.0		↓0.3	↑0.6	↓0.6	±0.0	↓0.6		↑1.0		↓0.4					
					児	自分や友達を大切にしていますか。	[状況]	● 花の栽培や、動物飼育を通して、優しく思いやりのある内面を育てています。困り感のある児童には、保護者や外部関係機関も参画する「問題解決型ケース会議」を開催して、オーダーメイドの具体的な手立てを講じています。														
保	お子さんは、自己肯定感や、他者への思いやりの心が育っていると思いますか。				[取組]	● 保二小独自の登校支援の居場所「COCOLO ルーム」の取組が評価され、東京都のリーフレットで紹介されました。 ● いじめや不登校の実質0(ゼロ)を実現しました。こうした実績につながった取組を、これからさらに、磨いていきます。																
						3.0 /3	[コメント] ● 花の栽培や動物飼育の取組について、とても素晴らしいと思っています。また、「COCOLO ルーム」の取組もあり、不登校ゼロだということもすごいと思います。 ● 不登校児童がいなくなったということは、「COCOLO ルーム」が有効であるということを示した、よい事例になったのではないのでしょうか。															
たくましい児童の育成	健やかな生活習慣の形成	健康づくりと体力づくりの推進	食育を推進し、栄養・運動・休養のバランスのとれた生活の基盤とする。 ● 食育指導 ● 残菜の削減	⑧	教	食育を通して、児童の食体験を拡張、残菜を減らすことができましたか。	35.7	57.1	0.0	0.0	7.2	83.9	16.1	0.0	37.6	34.8	20.2	6.2	1.2			
					↓0.2		±0.0		↑0.2	↑2.0	↓2.0	±0.0	↑0.6		↓1.5		↑0.9					
					児	給食を、好き嫌いなく、残さず食べることができましたか。	[状況]	● 給食費の無償化や、食材の高騰といった要因に関わらず、献立を工夫し、おいしい給食の提供を心掛けています。 ● 食育に係る児童の学習に呼応して、地産地消を推進し、地元の農家との連携による地場食材の活用をしています。														
					保	お子さんは、好き嫌いなくバランス良く食べることができますか。	[取組]	● 日々の残菜量を追跡調査しながら、児童の個人差に配慮しつつ、必要な栄養量を摂取できるよう、継続的な指導に努めます。国内外のさまざまな「食」を提示し、家庭と連携することで、食育の基盤となる「味育」に貢献していきます。														
						2.3 /3	[コメント] ● 食育を学校だけで指導することは難しいのでは。各家庭での思い入れの強さもあると思うので。															

たくましい児童の育成	健やかな生活習慣の形成	健康づくりと体力づくりの推進	体力向上における、「遊び」の果たす役割を重視し、運動の日常化を図る。 ● <u>体力調査の個票化</u> ● 用具の整備・購入	⑨	教	児童集団の遊びの体験を拡張、外遊びを促すことができましたか。	64.3	35.7	0.0	0.0	0.0	78.5	21.5	0.0	60.2	25.8	10.2	3.1	0.7				
					±0.0		±0.0		±0.0	↓ 3.7	↑ 3.7	±0.0	↓ 2.9		↑ 2.6		↑ 0.3						
					児	休み時間は、校庭で友達と元気に遊ぶことができましたか。	[状況]	● カバディ日本代表やダンス講師を招いた体験活動を通して、スポーツの価値や広がりを実感することができました。 ● マラソンチャレンジや長縄チャレンジを通して、友達と切磋琢磨しながら体力向上を実現でき、とても有意義でした。															
					保	お子さんは、屋外で友達と元気に遊ぶことができますか。	[取組]	● 文教地域に位置する利点を生かし、MUFG PARK や武蔵野大学との連携や、オリンピックなどのアスリート派遣事業の積極活用を進め、保二小だからできる貴重な体験を、児童それぞれのスポーツライフの起点にしたいと考えます。															
							[コメント] ● 広い敷地を活かして、体を動かす機会を増やしていただければと思います。																
伸びる児童の教育環境づくり	地域に開かれた学校の実現	コミュニティ・スクールの持続可能な運営	教科「市民科」を設け、地域の教育力を用いた地域教材により、総合的・実践的な問題解決力を高める。 ● 花プロジェクト ● <u>従来の学びの見直し</u>	⑩	教	児童の発達段階に応じて、総合的な問題解決学習の単元開発を図りましたか。	50.0	42.9	0.0	0.0	7.1	93.7	6.3	0.0	44.0	47.4	3.7	0.3	4.6				
					↓ 0.1		±0.0		↑ 0.1	↑ 23.4	↑ 1.4	↓ 24.8	↑ 0.9		↓ 2.3		↑ 1.4						
					児	地域のみなさんのアドバイスをもとに、花を育てたりすることができましたか。	[状況]	● 「市民科」の単元開発が、従来の教科指導を一層、価値あるものにする好循環にあります。さらに、異なる開発単元を融合させることで、より深い学びを実現しています。市の研修会で実践報告するなど、先進校の役割を担っています。															
		保	学校は、地域社会との連携を適切に行い、教育活動の充実を図っていますか。	[取組]	● 地域と連携した野菜の栽培・販売や、空き教室を活用したレタスの「屋内水耕栽培」、「起業体験」から発展した「株式運用体験」など、予算がなくても、かつてない学びを、公立学校で実現する創造が、保二小らしさだと自負します。																		
									[コメント] ● 花プロジェクトのおかげで、保育園の玄関まわりなどが花で彩られ、有難く感じています。また、1年生と交流する機会ができ、就学への楽しみにつながっています。 ● 子ども達にとって、学習が学校の中だけではなく、外に出てから使えるものだと実感できているのではないのでしょうか。														
		保護者の会への移行	安全・安心を学校運営の基盤とし、地域ぐるみで「考える安全教育」を推進する。 ● <u>柳沢あんぜんの日</u> ● 安全マップづくり	⑪	教	児童が、安全・安心を我が事としてとらえ、自ら退避行動をとれる指導をしましたか。	92.9	0.0	0.0	0.0	7.1	98.8	1.2	0.0	42.7	49.2	2.2	0.6	5.3				
	↓ 0.1				±0.0		↑ 0.1	↑ 1.9	↓ 1.9	±0.0	↑ 3.6		↓ 3.8		↑ 0.2								
	児				地震や火事、不審者から、どうやって自分を守るか、訓練で知ることができましたか。	[状況]	● 東京都安全教育推進校として、安全教育を現代的なニーズに応じて更新し、取組をリーフレットにまとめて、全ての区市町村に提供しました。また、指導資料「安全教育プログラム」に指導事例が掲載され、全都の模範となりました。																
	保	学校は、お子さんの自立的な安全・安心のために、工夫した手立てを講じていますか。	[取組]	● PTA から「保護者の会」への移行に伴って、児童の「地区班」の安全かつ持続的な編成の在り方を検討しています。そのために、全ての児童の登校経路を地図上にプロットし、その分布を根拠に、番地ごとの班編成を考えています。																			
								[コメント] ● いつ起こるか分からない有事の時のために、毎年、行っていただけたらと思います。															
	指導環境の充実	校務改善による働き方改革の推進	校務の合理化により、職員が児童と向き合う時間を創出する。 ● <u>教科担任制の推進</u> ● IT 化の組織化 ● 外部人材の組織化	⑫	教	校務の改善は進んでいると思いますか。	53.3	40.0	6.7	0.0	0.0	88.4	11.6	0.0	30.7	44.0	11.5	1.2	12.6				
					↓ 0.7		↑ 0.7		±0.0	↓ 1.2	↑ 1.2	±0.0	↓ 2.6		↑ 0.3		↑ 2.3						
児					先生と話したり、いっしょに遊んだり、分からないところを相談したりできましたか。	[状況]	● 学年をまたぐ教科担任制を進め、教科の専門性の向上と、集団指導体制の確立を図り、指導効率を高めています。 ● 会計年度職員を組織化することで、学校運営を担う人員を厚くし、具体的にワークシェアを進めています。																
保					教職員が、ゆとりをもって教育活動を行うことができていると思いますか。	[取組]	● 市内他校の動向を踏まえ、個人面談重視へのシフトなど、通知表の在り方を見直す時期にきていると考えます。何をなすために何が必要かをよく見極め、結果として教職員による指導の充実を図れるよう、進めていきます。																
							[コメント] ● 先生が楽しそうにしている。 ● 教職員の心のゆとりは、必ず子ども達に良い結果をもたらすのではないのでしょうか。やりがいを感じられるような環境を作っていただければと思います。																